

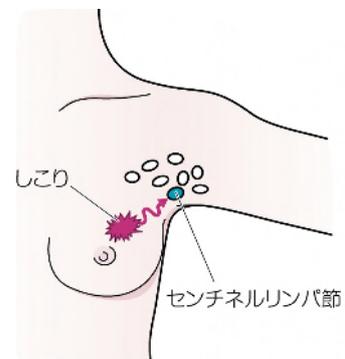
# センチネルリンパ節シンチグラフィ

## ○ 核医学検査 (RI 検査) とは？

核医学検査 (RI 検査) とは、ガンマ線という放射線を放出する検査薬を注射し、臓器や病変部に取り込まれた検査薬から放出されるガンマ線をカメラで撮影し、体内の情報を得る検査です。投与される検査薬から放出される放射線は極めて微量で、副作用も心配ありません。検査薬は、速やかに自然な排泄作用によって、体から除去されます。

## ○ センチネルリンパ節シンチグラフィとは？

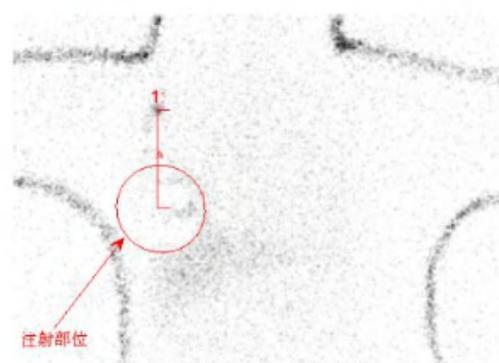
乳がんの手術前 (手術当日) に行う検査です。センチネルリンパ節とは、乳がんのがん細胞がリンパの流れに沿って最初に到達した、がんにもっとも近いリンパ節のことを言います。(センチネルとは見張り番という意味があります。) 乳がんが転移をする場合、センチネルリンパ節を通らず、お腹などのリンパ節に転移することはないと考えられています。このリンパ節を手術中にとって、がん細胞が無ければわきの下のリンパ節は取らなくてよいと、推奨されています。この検査は、どこにセンチネルリンパ節があるかを調べるための検査です。手術中も専用のカメラを使ってセンチネルリンパ節を探して、このリンパ節に転移していないかどうか調べます。



## 検査の方法と流れ

1. 手術する方の乳輪の近くに3カ所、検査薬を皮下注射します。
2. 検査薬がリンパ節に移動するまで約3時間待ちます。
3. 検査ベッドに横になります。撮影の間は、リラックスして動かないようにしましょう。

1: 107.9 mm.



**検査時間は約 30 分です。**

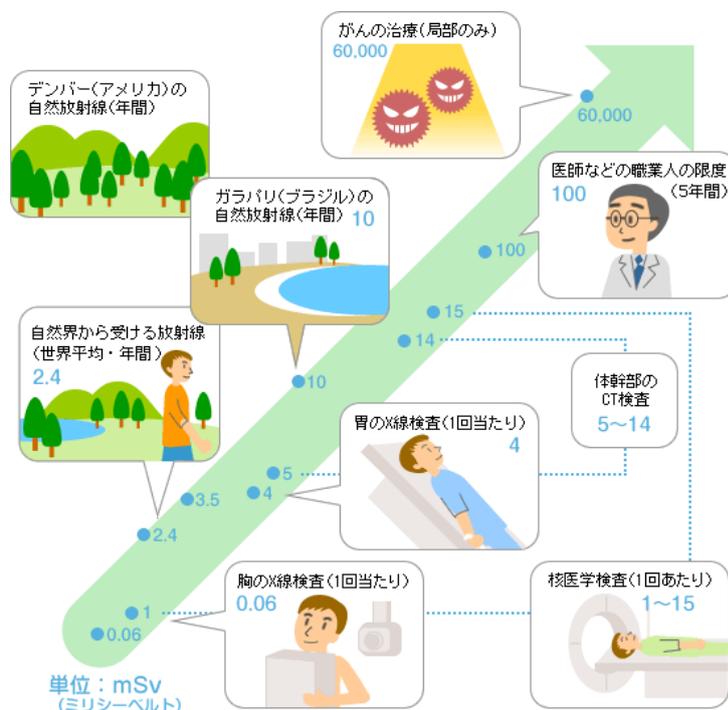
## 【センチネルリンパ節シンチグラフィ Q&A】

### Q. RI 検査薬の副作用はないの？

A. 当院がこれまで行ったセンチネルリンパ節シンチグラフィ検査 291 件(2020 年 7 月末時点)すべてにおいて、副作用は発生しておりません。極稀なアレルギー反応など、万が一、副作用が起こった場合、迅速かつ最善の処置を行いますので安心して検査を受けてください。

### Q 被ばくはどれだけするの？

A 病院で受ける検査による被ばく以外にも、下の図にあるように普段生活しているだけでも少量の被ばくをしています。RI 検査では検査の種類によって 1~15 ミリシーベルトの被ばくをします。センチネルリンパ節の検査薬は、テクネシウムという放射性物質を使用しています。テクネシウムの放射線量は注射した時点から 6 時間で半分、24 時間で 16 分の 1 と極少量となります。この検査では検査薬を乳房のみに皮下注射することから、乳房周囲のみに少量の被ばくはありますが、全身の被ばくは正確に線量を算出することができないくらいに微量で、有害事象が発生する確率は限りなく 0 に近いと推定されます。



参考資料：日本メジフィジックス株式会社ホームページ  
核医学検査の安全性

<https://www.nmp.co.jp/member/kakuigaku/safe.html>